

## 高専

# 池の平でFD研修会を実施

## 黒田学園長の講義や 総合アンケート調査結果報告会を行う

今年度1回目の金沢高専FD研修会が7月22日(木)から1泊2日の日程で、池の平セミナーハウスで実施された。平成16年度にスタートしたこの合宿FD研修会も今年で7回目となり「改善の始まりは気づきである」を研修テーマに掲げ、以下のような4項目の内容で2名のゲストを迎えて実施した。

- ① アイ・ポイントの池田晋代表によるKTC授業・総合アンケートとグループインタビューの調査結果報告
- ② 黒田壽二学園長による講演題目「高専の評価と今後の展望－高等専門学校の質保証と情報公開」の講演
- ③ 地域連携教育センター主任の香林利男教授による2年後に迫った外部審査受審準備のための説明
- ④ 「一般科目と専門科目の連携について」と「アンケート及びグループインタビューについて」の2つの内容に関するグループ討議

まず①の「グループインタビュー」は「アンケート」のような定量調査では出てこない不満足意見や改善要望などを聞き出すのが狙いであり、今回が2回目である。このグループインタビューの結果も含めた、池田代表の結果分析によると、全体的な傾向として次のような点が主なものとして挙げられる。

- ・授業に対しては非常によい結果が得られており「興味」「積極性」「満足度」の3指標ともに、これまでで最高となり、逆に「勉強しなかった」の割合はこれまでで最も少なくなった。
- ・経年変化においても「高専満足度」「授業満足度」ともに継続的に評価が上がっている。
- ・学生同士や学生と教員との間のコミュニケーションが良好であるが、学科間や学年間のコミュニケーションが少ない。
- ・施設や設備の良さや就職・進学などの進路の面ではよい傾向が見られた。
- ・留学の経験者はその内容を非常に高く評価している。



総合アンケートの結果報告をする池田氏

以上、ここに挙げた結果には良くなっている点が多く見られるが、改善すべき点も多く、平成21年度から文部科学省の選定事業として取り組んでいる「5年一貫の工学・英語協同学習とFD活動」と「協同と共創によるキャリアデザイン教育」の2つのプロジェクトによる成果によって「英語や工業英語」に対する評価を高め、学生が高専生活の中で「目的・目標」を見つけ、充実した学校生活を送れるようになることを期待している。

また、クラブ活動は人間形成に関わる重要な部分であることから、早急の対策が求められる。

今回の研修テーマの意味するところを十分に斟酌し、山田弘文校長が言わんとする「本校の全教職員がKTC授業アンケートや総合アンケート、あるいはグループインタビューなどの調査結果の裏面にある事実や現象に気づき、より充実し満足度の高い授業の実現に努めることが肝要である」との思いを重く受け止めなければならない。

アンケート結果やその報告会で出された多くの意見は、④のグループ討議によって議論され、それらをまとめた提言は明日への改善に繋がるであろう。

## 黒田学園長が講演

次に、②では以下の11項目について講演が行われた。

1. 日本の教育システム  
「高専と高校・大学の制度上の関係」
2. 中央教育審議会答申の推移
3. 設置者別学校・学科・学級数及び入学定員など（平成20年度）
4. 高等専門学校制度の主な経緯
5. 高等専門学校の特色と取り組み
6. 教育の質保証の取り組みの連関図
7. 高専教育の質保証システム  
質保証の動向－公的な質保証システム－  
質保証の動向－内部質保証システム－
8. 高専教育の質保証と情報開示の基本的考え方  
国際的通用性に向けた情報公開の在り方
9. 高専内での質保証体制の整備
10. 学校の社会的責任  
(University Social Responsibility)
11. まとめ：トップのマネジメント力とマーケティング  
力で高専が変わる

### 《日程》

日	時間	内容
22日	8:20	プラザ集合
	8:30	学校出発
	12:00	池の平セミナーハウス到着
	12:15～13:00	昼食
	13:10～13:15	開会及び日程説明 [研究主事]
	13:15～13:30	校長あいさつ
	13:30～15:30	KTCアンケート(総合・授業・インタビュー)結果報告 [アイ・ポイント池田晋代表]
	15:40～17:00	高専の評価と今後の展望 [黒田壽二学園長]
	17:10～17:40	障害学生理解(発達障害)：障害学生支援についての教職員研修プログラムDVD
	17:45～18:30	夕食
18:45～20:00	意見交換会	
23日	7:30～7:45	朝の集い [木原均・藤島悟志]
	7:45～8:30	朝食
	8:30～9:00	片付け・掃除・部屋空け渡し
	9:00～9:45	認証評価の準備について [地域連携教育センター主任]
	9:50～11:45	グループ討議 ①一般科目と専門科目の連携について ②アンケート調査結果について (議事録提出)
	11:50～12:00	校長あいさつ
	12:00～12:45	昼食
	13:00	池の平セミナーハウス出発
16:30	学校到着	

黒田学園長はパワーポイントを使って、非常に難しく複雑な教育システムや学校制度などについて、わかりやすく説明された。また、高等教育機関に求められている教育の質の保証や情報開示についても、丁寧な説明があった。

最後に、これからは「知の時代」であり「高専の使命」を明確化することの重要性を訴えた。そして、現状維持では後退するばかりであり、常に「遠い星と近くの星の共有化」を図ることが大切であり「高専の将来に対する夢を語り合う」ことで、ベクトルを合わせて高専、ひいては学園の活性化を図らなければならないとの熱い思いが語られた。特に高専教育のあり方、第三者評価及び情報公開については、国が求めている本音のところについて直接お話を伺うことが出来、大いに今後の改革の資としていきたい。

③では本校が平成24年度に「大学評価・学位授与機構の機関別認証評価」を受審するための対策として、6月に東京で実施された「高等専門学校機関別認証評価に関する説明会」の資料に基づき、受審までのスケジュールや評価基準・観点の前回との変更点・留意点、準備すべきものなどについて説明があり、これからの準備が大変であるとの認識を新たにさせられた。

また、夕食後の意見交換会では、この会に出席するために東京へ戻る列車を最終便に遅らせて出席頂いた黒田学園長を始めとして、池田代表、CS室の丹羽和征氏と下津竜之氏にも出席頂き、和やかな雰囲気の中、黒田学園長が講演会で話された「夢を語ろう」がさっそく実践に移された。

この研修の終わりにあたっての山田校長の講評では、高等専門学校教育が本来及すべき教育とは何か、効果的な情報公開のあり方や第三者評価は如何にあるべきか、グローバル化にどのように対処すべきか、加えて私学ではどのようにして学生を充足し存続するかを含めた私学高専の将来像などについて、明確な回答を準備して認証評価に臨むとの強い決意が伝わってきた。

帰校後、各教職員に今後の改善に役立ててもらうため、グループ討議において全員が真剣に取り組み、知恵を出し合ってまとめた3グループすべての改善提案を配付する予定である。また、KTC教育評価委員会でも議論を重ねて喫緊を要する提言については校長に具申し、実行可能なものから、改善に着手していく所存である。